

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2017年11月-2) 第90号

活動日 2017年11月26日(日)	時間 9:30~12:00	天候 (晴)	記録者 (菅田)
公募参加者 7家族26名 スタッフ13名	(スタッフ) 磯野彰夫 片岡睦夫 菅田忠志 小林澄夫 塩ノ谷年子 清水英暢 俵貴志子 田路義弘 南木久枝 橋野美子 松本治美 山田喜義 米倉進		
今回実施した内容	親子カブトムシ生育観察会(2017年第3回 秋の里山を楽しむ) 親子自然体験型環境学習として企画し、(公財)こうべ市民福祉振興協会の協力を得て公募した2017年度『親子カブトムシ生育観察会』、年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り体験するイベント。今回は年間3回シリーズの3回目。 7月に成虫さがし、持ち帰りをしてもらったが、再び8月には同じ場所に産卵・孵化をして成長している幼虫観察をし、命のつながりをしっかり観察してもらった。 観察後は、“秋の里山を楽しむ”のテーマを「植物採集⇒いろいろな葉の形や色を並べてのビンゴゲーム」や、昨年植えつけたクヌギドングリの実から芽生えて育った苗の「植樹作業」を体験してもらった。		
写真記録			



今日実施する内容の説明後、カブトムシの一生のおさらい



7月に産まれてきた幼虫さがし



冬眠前なので静かに少しだけ掘りだして観察。 もこもこに育っている3齢幼虫を見つけてご機嫌。



枯葉集めも今回の大切な作業。落葉樹であるコナラの落ち葉を集めて…。



集めた落ち葉をこの夏に完成したカブトムシ観察小屋の中に設けた産卵・生育場所に入れていく。



落ち葉集めの後は、春に植えたクヌギドングリの苗を植樹してもらった。



それぞれ名札を書いてたてる。しっかり育ってくれるといいね。



植樹周辺でいろいろな里山の話も…。

落葉樹や広葉樹の話、伐採する樹、残す樹、苗を育てる樹など里山整備の大切さの話。

この里山で1本の「ユズリハ」の樹の名前の由来、似た樹で「タラヨウ」の葉の裏に小枝で傷をつけると黒く残る。昔文字を書いて使った。これが「ハガキ」の語源になった話。

今、ナラ枯れ現象が日本海側から徐々に南下しており、この里山でも気を付けていることなど。



里山内での作業や観察を終えての帰路は、植物採集タイム。あらかじめ渡しておいたいろいろな形・色の木の葉や、特徴のある葉を見つけながら帰る。



持ち帰ってきた木の葉をビンゴシートに貼りつけていく。いいにおいの葉、くさい葉、トゲや産毛のある葉、虫食いの葉、ちぎるとミルクを出す葉、四角い茎の草、いろいろな色の木の実やどんぐりなど。



ファミリーごとにまとめてもらった「木の葉のビンゴシート 4 段 3 列」



4 段 3 列以外の木の葉をみんなで貼っていく。



植樹したクヌギの苗木がしっかり育ちますように…

この活動は、平成 29 年度子どもゆめ基金の助成金で実施しております。